

財務データ編

▶事業の概況	2
▼連結情報	
連結財務諸表	4
連結リスク管理債権	18
▼単体情報	
財務諸表	19
損益の状況	25
営業の状況	
預金	27
貸出金	28
金融再生法に基づく開示債権	30
証券	31
信託	32
有価証券・金銭の信託の時価情報	32
デリバティブ取引情報	34
経営諸比率	36
資本の状況	36

監査法人による監査について

当行の連結財務諸表並びに財務諸表について、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、EY新日本有限責任監査法人の監査証明を受けております。

また、連結貸借対照表、連結損益計算書、貸借対照表及び損益計算書等について、会社法第396条第1項に基づき、EY新日本有限責任監査法人の監査を受けております。

事業の概況

連結決算における事業の概況

当行グループは、連結子会社7社、持分法適用の非連結子会社2社及び持分法適用の関連会社1社から成り、連結業績は以下のとおりとなりました。

(資産・負債・純資産の状況)

総資産は期中2兆1,988億円増加し10兆6,157億円となり、負債は期中2兆1,388億円増加し10兆676億円となりました。また、純資産は期中600億円増加し5,480億円となりました。

(損益の状況)

経常収益は、資金運用収益が減少したものの、その他経常収益（株式等売却益等）が増加したことなどから前期比2億46百万円増加し1,433億16百万円となりました。経常費用は、資金調達費用が減少したものの、その他経常費用（貸倒引当金繰入額等）が増加したことなどから前期比116億87百万円増加し1,232億33百万円となりました。

これらの結果、経常利益は、前期比114億40百万円減少し200億82百万円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比87億79百万円減少し135億1百万円となりました。

主要な経営指標等の推移（連結）

(単位：百万円)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月
連結経常収益	144,130	150,386	148,730	143,069	143,316
連結経常利益	36,521	42,409	35,785	31,523	20,082
親会社株主に帰属する当期純利益	26,304	28,366	23,321	22,280	13,501
連結包括利益	27,988	18,460	5,673	△30,146	65,515
連結純資産額	526,181	536,613	531,959	488,028	548,093
連結総資産額	7,986,598	8,004,790	8,140,134	8,416,864	10,615,756
1株当たり純資産額（円）	1,187.51	1,221.04	1,232.16	1,162.64	1,303.93
1株当たり当期純利益（円）	59.46	65.27	54.12	52.79	32.14
潜在株式調整後1株当たり当期純利益（円）	59.36	65.14	54.00	52.70	—
連結総自己資本比率（％）	12.58	12.41	12.25	11.95	12.74
連結Tier1比率（％）	11.94	11.90	11.52	10.74	11.58
連結普通株式等Tier1比率（％）	11.93	11.83	11.45	10.74	11.58
従業員数 [外、平均臨時従業員数]（人）	3,284 [1,440]	3,226 [1,511]	3,185 [1,558]	3,159 [1,571]	3,175 [1,519]

- (注) 1. 当行及び国内連結子会社の消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。
 2. 2020年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在しないため記載していません。
 3. 連結自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく2006年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当行は、国際統一基準を採用しております。パーゼルIII基準により自己資本比率を算出し、連結総自己資本比率、連結Tier1比率及び連結普通株式等Tier1比率を記載しております。

当行における事業の概況

(資産・負債・純資産の状況)

総資産は、期中2兆1,955億円増加し期末残高は10兆5,987億円となりました。負債は、期中2兆1,495億円増加し期末残高は10兆816億円となりました。また、純資産は、期中459億円増加し期末残高は5,170億円となりました。

主要勘定につきましては、預金は、個人預金、法人預金ともに順調に増加したことから、前年度末比7,026億円増加（前年度末比+9.9%）し期末残高は7兆7,527億円となりました。

貸出金は、中小企業向け貸出が順調に増加したことなどから、前年度末比1,473億円増加（前年度末比+2.6%）し期末残高は5兆7,496億円となりました。

(損益の状況)

損益の状況につきましては、資金利益や役員取引等利益が増加したことなどから、コア業務純益は前年度比25億65百万円増加し266億18百万円となりました。

経常利益は、株式等売却益などの有価証券関係損益の増加などがあったものの、与信費用の増加を主因として、前年度比84億95百万円減少し168億90百万円、当期純利益は前年度比62億38百万円減少し116億80百万円となりました。

主要な経営指標等の推移（単体）

（単位：百万円）

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月
資産・負債及び資本の状況					
預金残高	6,497,353	6,669,124	6,808,474	7,050,138	7,752,757
貸出金残高	5,224,283	5,518,657	5,565,495	5,602,306	5,749,625
有価証券残高	2,089,169	1,762,450	1,701,883	1,798,960	2,412,563
総資産額	7,972,794	7,987,457	8,122,564	8,403,185	10,598,742
資本金 (発行済株式の総数：千株)	48,652 (470,888)	48,652 (460,888)	48,652 (453,888)	48,652 (435,888)	48,652 (435,888)
純資産額	508,561	513,871	508,420	471,068	517,066
損益の状況					
経常収益	119,136	122,161	118,998	106,907	109,020
経常利益	34,522	38,502	31,982	25,386	16,890
当期純利益	25,237	26,056	20,972	17,918	11,680
1株当たり情報（単位：円）					
純資産額	1,160.29	1,182.75	1,189.98	1,122.21	1,230.11
当期純利益	57.05	59.96	48.67	42.45	27.81
潜在株式調整後当期純利益	56.95	59.84	48.56	42.39	—
配当額 (うち中間配当額)	12.00 (6.00)	13.00 (6.00)	13.00 (6.00)	13.00 (6.00)	13.00 (6.00)
配当性向（%）	21.03	21.68	26.71	30.62	46.75
単体総自己資本比率（%）	12.17	11.98	11.84	11.57	12.18
単体Tier1比率（%）	11.56	11.50	11.13	10.37	11.04
単体普通株式等Tier1比率（%）	11.56	11.50	11.13	10.37	11.04
従業員数（人）	3,106	3,050	2,995	2,960	2,976

(注) 1. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 2020年度の中間配当についての取締役会決議は2020年11月5日に行いました。

3. 2020年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 単体自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく2006年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当行は、国際統一基準を採用しております。バーゼルⅢ基準により自己資本比率を算出し、単体総自己資本比率、単体Tier1比率及び単体普通株式等Tier1比率を記載しております。